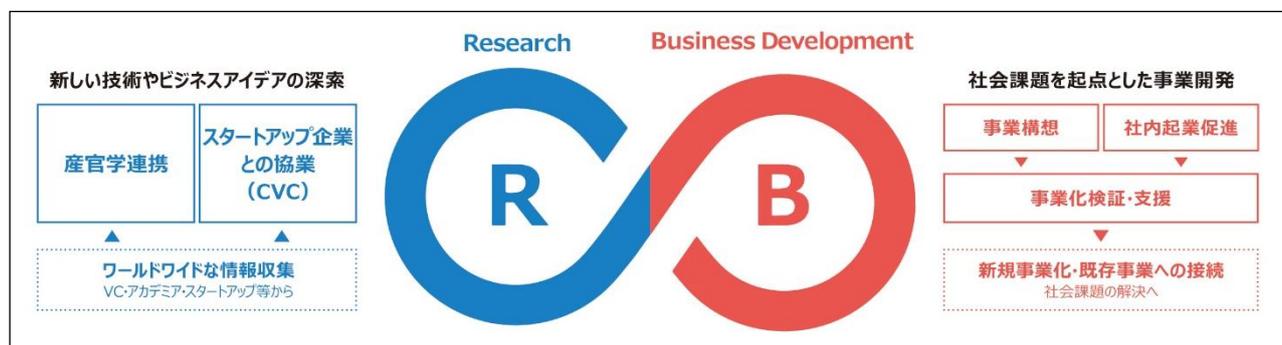


## 未来志向で社会課題解決に取り組む「R&B」専門組織を立ち上げ オープンイノベーションを加速するため 100 億円規模の CVC ファンドを設立

キヤノンマーケティングジャパン株式会社（代表取締役社長：足立正親、以下キヤノン MJ）は、未来志向で社会課題を解決するために新たな事業の創出に取り組む「R&B（Research & Business Development）」の専門組織を立ち上げました。スタートアップ企業や教育機関、行政との共創により、新たな価値創造に取り組みます。あわせて、最先端の技術やビジネスアイデアを持つスタートアップ企業とのオープンイノベーションを加速するため、100 億円規模のコーポレートベンチャーキャピタル（以下 CVC）ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」を設立しました。



R&B（Research & Business Development）の全体像

キヤノン MJ グループはこれまで、社会やお客さまの変化する要望に応え、新たな市場を開拓してきました。一方で、複雑化、深刻化する社会課題を解決し持続可能な社会を実現するためには、常に未来に目を向け、既存の枠にとられない新たな価値の創造が求められています。

このような背景からキヤノン MJ グループは、マーケティングの力でより良い未来を創る「未来マーケティング企業」を宣言し、キヤノン MJ グループのパーパス「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」を制定しました<sup>※</sup>。

そしてキヤノン MJ は、パーパスの実現に向けた具体的な取り組みとして、未来志向で社会課題を解決するために、新たな事業の創出に取り組む「R&B」機能の専門組織「R&B 推進センター」を立ち上げました。志を同じくするスタートアップ企業や教育機関、行政とワールドワイドにオープンイノベーションを推進し新たな価値創造に取り組みます。

さらに、「R&B」の取り組みとして、最先端の技術やビジネスアイデアを持つスタートアップ企業とのオープンイノベーションを加速するため、100 億円規模の CVC ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」を設立しました。投資領域は、Well Being、Business Transformation の 2 分野としています。

※ ニュースリリース「キヤノンマーケティングジャングループが「未来マーケティング企業」を目指しパーパスを制定（2024年1月29日）」参照。

### ■ R&B（Research & Business Development）の主な機能

「R&B」では社会課題を起点として、キヤノン製品事業と IT ソリューション事業を中心とする既存事業の延長線上ではない、新しい領域の探索に取り組みます。一方で、ビジネスの親和性やリソース活用の観点から、既存事業とも接続することにより、既存事業の拡大にもつなげていきます。

常に未来志向で社会課題の解決につながる新規事業を創造し続けることにより、未来のマーケットを創出するとともに、キヤノン MJ グループにおける事業ポートフォリオの最適化に取り組みます。

「Research」機能では、スタートアップ企業との協業や教育機関や行政との連携など、多様なステークホルダーとの取り組みを通じてワールドワイドにオープンイノベーションのネットワークを構築し、新たな事業のもととなる技術やアイデアを探索します。「Business Development」機能では、キヤノン MJ グループが培ってきた「イメージングと IT の技術力」「顧客基盤」「人材力」などのアセットとともに、オープンイノベーションのネットワークを活用し、ビジネスを創造します。「Research」と「Business Development」の両機能をあわせて行うことで、事業創出機能の強化を図ります。

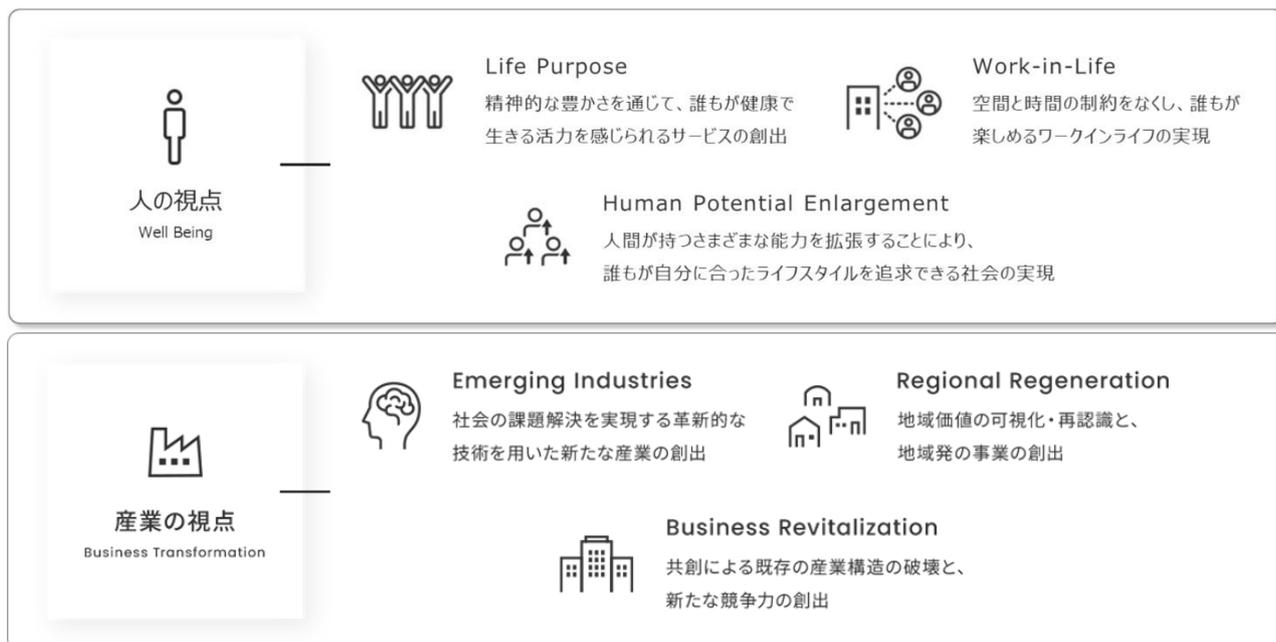
## ■ CVC ファンド「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」について

「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」は、最先端の技術やビジネスアイデアを持つスタートアップ企業とのオープンイノベーションの加速を目的に設立しました。

# Canon Marketing Japan MIRAI Fund

### 〈投資領域〉

投資領域は、キヤノン MJ グループの既存事業にとらわれない、未来に想定される社会課題を起点としており、①Well Being（ウェルビーイング）、②Business Transformation（ビジネストランスフォーメーション）の2分野としています。



①Well Being は、社会を構成する個人一人ひとりの目線で困りごとや課題を捉え、安心で健やかな生活の実現に貢献することを目指します。

②Business Transformation は、産業を担う事業者や自治体・研究機関などの目線で、革新的な技術やビジネスモデルを探索し、持続的な経済活動の実現に貢献することを目指します。

### 〈ファンド概要〉

- 登記名称：キヤノンマーケティングジャパン未来投資事業有限責任組合
- 運用期間：2024年1月29日からの10年間（予定）
- 投資対象：アーリー・ミドルを中心とした国内外の全ステージのスタートアップ企業
- ファンド規模：100億円（予定）
- 運用者：グローバル・ブレイン株式会社

- 
- 報道関係者のお問い合わせ先：広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093（直通）
  - 一般の方のお問い合わせ先：R&B 推進センター <https://forum1.canon.jp/public/application/add/9859>
  - ニュースリリースホームページ：[canon.jp/newsrelease](https://www.canon.jp/newsrelease)

〈グローバル・ブレイン株式会社の概要〉

設立年月日	1998年1月14日
所在地	東京都渋谷区桜丘町10-11
代表者	百合本 安彦（代表取締役社長）
事業内容	ベンチャーキャピタル事業